

委託事業実施内容報告書

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的長期研修】

受託団体名 三重実践日本語教育の会(三重大学)

1 事業の趣旨・目的

三重県では、外国人労働者とその家族等が増加しており、地域で外国人に日本語を支援するボランティア日本語講師の不足は依然として大きい。昨年度、文化庁の委託を受けて本事業を行ったが、ボランティア日本語教師への実習指導において支援効果が見られ、実施意義が高いことが示唆された。今年度も、地域と協働して、共に地域の多文化共生社会を築く日本語指導者の育成を図る。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
2008年 9月24日	三重大学 国際交流 センター 国際研究 部門室	花見楨子 福岡昌子 鹿嶋 恵 別府直苗 木下一大	三重大学ボランティア日 本語講師養成講座の講義 予定について	1. 講義予定について 2. 実習方法について 3. 津市役所市民部国 際・国内交流室の多文 化共生への取り組み 4. その他
11月19日	アポーヨ ミエ	福岡昌子 大淵和幸	実習先の対応1.	実習先の対応：教室、カ リキュラムの確認
12月3日	アポーヨ ミエ	福岡昌子 大淵和幸	実習先の対応2.	実習先の対応：クラス別 指導
12月24日	アポーヨ ミエ	福岡昌子 大淵和幸	実習先の対応3.	実習先の対応：クラス別 指導と今後の予定の確認
2009年 1月21日	アポーヨ ミエ	福岡昌子 大淵和幸	実習の現状1.	実習開始後の状況把握お よび確認
1月30日	アポーヨ ミエ	福岡昌子 木下一大 大淵和幸	実習の現状2.	実習開始後の状況および 今後の計画

2月18日	三重大学 国際交流 センター 国際研究 部門室	花見楨子 福岡昌子 鹿嶋 恵 大渕和幸	三重大学ボランティア日 本語講師養成講座の実施 報告について	1. 講義報告について 2. 実習報告について 3. ブラジル人学校での 多文化共生のための取 り組み 4. 今後の課題
-------	-------------------------------------	------------------------------	--------------------------------------	---

【写真】



3 研修講座の内容について

(1) 研修講座名 三重大学ボランティア日本語講師養成講座 2008

(2) 研修の目標

- ・ 質の高いボランティア日本語講師を養成し、地域の多文化共生社会の構築に貢献する。
- ・ 実習はブラジル人学校との連携し、支援を行う。また、津市市役所等と情報交換・意見交換を図る。
- ・ 本養成講座の修了生を積極的に活用し、在日外国人への日本語教育の推進を図る。

(3) 受講者の総数 22 人

開催時間数 (回数) 89.2 時間

・ 講義:36時間 (各回2時間×18回)

・ 実習(TA及び実習体験):53.2時間

(50分×2クラス×32回)

(4) 参加対象者の要件

- ・ ボランティア日本語講師として仕事をする意志があること。
- ・ 講義と実習ともに、全日程の2/3参加できる方。定員20名。
- ・ 日系外国人、日本人と国際結婚をした方、日本へ帰化された方の場合は、日本語を指導できる程度の日本語能力があり、日本語教師養成に関する内容を理解しようとする意欲のある方。

(5) 受講者の募集方法

- ・ 三重大学ホームページ、市役所、津市国際交流財団等の広報・掲示
(別添の募集チラシ参照)

(6) 研修会場

ア 講義：2008年10月8日～2009年2月18日毎週水曜日 19:00～21:00

三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学国際交流センター(演習室3・4)

イ 実習：①11月5日(水)～12月19日(金) TA(ティ-チング・アシスタント)6回

②1月16日(金)～2月13日(金) 実習1回(1回20分～50分)

*毎週：月、水、金曜日 (実習校への送迎有)、②毎週：月、金曜日 15:00～17:00

*実習の場所：津市高茶屋6丁目1-22 アポーヨミエ(ブラジル人学校)

(7) 使用した教材・リソース

『図解日本語』(沖森卓也、三省堂)、『よくわかる言語学』(定延利之、アルク)、『言語学のしくみ』(町田健、研究社)、『よくわかる文法』(藤原雅憲、アルク)、『よくわかる音声』(松崎寛、河野俊之、アルク)、『よくわかる日本語史』(真田信治 アルク)、『日本語教育ガイドブック』(横溝紳一郎、ひつじ書房)、『日本語学入門』(庵功雄、スリーエーネットワーク)、『成長する教師のための日本語教育ガイドブック 上・下』(川口義一&横溝紳一郎 ひつじ書房)、『Japanese for Busy People I、II』(国際日本語普及協会、講談社 international)、『みんなの日本語初級 I、II 本冊』(スリーエーネットワーク)、その他

(8) 研修内容

回	実施日	研修内容	講師	所属	受講者数
1	10月8日	開講式 多文化共生社会への理解、日本語教育の現状	福岡	国際交流センター 准教授	14名
2	10月15日	言語習得と発達－第1言語習得と第2言語習得－	福岡	〃	11名
3	10月22日	音声と音韻	福岡	〃	11名
4	10月29日	日本語教授法1 －教材・教具論－	大野	国際交流センター 非常勤講師	12名
5	11月5日	文法1	別府	教育学部准教授	12名
6	11月12日	文法2	別府	〃	11名
7	11月19日	文字・表記	林	教育学部講師	9名
8	11月26日	異文化理解	花見	国際交流センター 教授	11名
9	12月3日	異文化コミュニケーション	花見	〃	9名
10	12月5日	語用論	鹿嶋	国際交流センター 准教授	10名
11	12月12日	社会言語学1－会話の構造－	鹿嶋	〃	7名
12	12月19日	社会言語学2－待遇表現－	鹿嶋	〃	7名
13	1月7日	日本語教授法2 －コースデザインとカリキュラム－	福岡	国際交流センター 准教授	12名

14	1月14日	日本語教授法3 －研修生－	赤塚	鈴鹿国際大学 講師	14名
15	1月21日	日本語教授法4－外国語教授法とドリルー	赤塚	〃	12名
16	1月28日	総合指導実習1	大野	国際交流センター 非常勤講師	13名
17	2月4日	総合指導実習2	大野	〃	9名
18	2月18日	総合指導実習3、閉講式	福岡	国際交流センター 准教授	12名

(9) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

2009年2月18日に実施した。講義や実習等、高い評価を得た。

② 実施主体からの研修内容に対する結果評価

昨年度の2倍の修了者を出すことができた。研修内容も昨年度より充実させることができ、研修の後半にも参加者が増えた。また、実習先とうまく連携して実習研修を行うことができ、地域の在日外国人支援に対する受講者の意識を高めることができた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

今後もボランティア日本語本語講師養成講座を開催し、質の高いボランティア日本語講師の育成・輩出を目指す。三重大学国際交流センターにて社会人ボランティア日本語教師としての活動の場を提供し、地域における在日外国人が孤立しないように支援活動を行っていく。

(10) 事業の成果

① 他事業との連携

「日系人を活用した日本語教室」（於：ブラジル人学校「アポーヨミエ」）
（昨年度「三重大学ボランティア日本語講師養成講座2007」修了生による参加）

② 研修後の人材活用

修了者10名（修了証書受領者）。来年度「日系人を活用した日本語教室」（於：ブラジル人学校）へ修了生による参加、地域日本語ボランティア教室への参加、内モンゴルにおける日本語教室への参加など。

(11) 今後の課題

- ・質の高いボランティア日本語講師養成講座の継続。
- ・地域の日本語支援活動の継続・発展活動。
- ・他の日本語教育機関、行政機関との連携活動。
- ・本養成講座の修了生を積極的に活用し、在日外国人への日本語教育の推進を図る。